

2022
September

十三公民館だより

発行 十三公民館 ☎・FAX 91-1755

ALTと学童の国際交流の集い



8月23日火曜日9時30分から十三公民館で、ALT（エーエルティー）と学童保育児童との国際交流の集いがありました。

エーエルティーは、アシスタント ランゲージ ティーチャー Assistant Language Teacherの略で、「外国語指導助手」や「英語指導補助」のことをいいます。子どもたちにとっては「英語の先生で外国人」というイメージです。

小学校低学年から高学年までの子供たちが外国人と触れ合い、慣れ親しむとともに国際感覚を身につけることを目的として、氷見市国際交流協会が平成25年から続けている事業で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限などにより休止した時期もあったそうですが、普段子供達が体験できないアメリカなど外国の遊びやゲームを先生と楽しみながらできるので子供達には大変人気があるそうです。

この日、アメリカ出身の男性2人、女性2人のALTの皆さんが十三公民館を訪れ自己紹介のあと、2グループに分かれた児童でじゃんけんをし、勝った人は別のグループの勝者とじゃんけんをし、最後の勝者を一人決めるじゃんけん大会を皮切りに、ミュージカルダックス、アイ ライク I Like ゲーム、ジェスチャーゲームそしてチームドロ잉の5種類の遊びやゲームで楽しい時間を過ごしました。

終わったあと、ALTの皆さんに「また来てくださいねと」お願いしていました。

十三地区の集落別地名由来

惣領

集落は端出・表出・川淵・園出の四垣内より成る。

越中志徴に「惣領村飯尾家伝書。至徳二年十二月十二日讓状に、越中国耳浦庄内惣領分地頭職。(耳浦又五郎入道跡)………任亡父道勝讓状之旨、飯尾隼人佑兼行可全領掌云々」とあり、南北朝期は耳浦又五郎入道の所領であったが、室町初期より飯尾道勝、長男兼行が地頭職として領有していた。

地名の由来は飯尾家伝書にみられる「越中国耳浦庄内惣領分」によるものであろう。

また、越中志徴に当地域は「一書に言ふ、昔は惣領に瀉ありて、十二町瀉より続き、入海の如くなりし故、船も入りたりしかど、後世追々埋まりて田地と成りたり。今船石など言ふなり。是れ入海の遺名乎と言ひ伝うとぞ」と記されている。

惣領の地名(小字)

浦の前・江添・大谷内・勘ヶ谷内・高知平・高木・段ノ下・中田・野際・前田・山ノ腰・若宮

鞍骨

集落は上出・中出・諏訪の三垣内より成る。

越中志徴に「鞍骨村この村を鞍骨と称する由縁詳ならず。………民部式に堂陸国鞍橋は鞍骨の事なりと言へり。鞍骨は鞍木をいへり」と記されている。

また、「一書に言ふ。昔飯久保に在城する加納中務、鞍骨山に本城を構へ、飯久保を出城となし、飯久保・惣領・鞍骨・仏生寺の四ヶ村を領せしかど、後滅亡し、その子孫鞍骨村に居住し、鞍骨を拵え業とす。故にそれより………村名を鞍骨村と称すと言ひ伝へり」とあり、鞍骨は櫛の木で馬の鞍を作ったことより名づけられたという説がある。

また、鞍骨は萱ぶき屋根の棟を押さえる堅魚木に似た木で、くずやの屋根の尾木という意もある。

鞍骨の地名(小字)

岩屋・上野・大平・尾ノ谷・島セ町・神野・諏訪・曾根・高木・辰出・山浦・長セ町・中ノ坪・宝蔵坊・明後谷・森ノ越・山崎

9月の講座案内



講座名	曜日	実施日	時間	講師名
詩吟	月	5日・12日・19日・26日	10時30分～	平井静子先生
三味線	木	8日・22日	19時30分～	山下茂昭先生
手芸	火	6日・13日・20日・27日	13時00分～	
茶道		9月休講	10時00分～	
バランスボール	日	11日・25日	10時30分～	浦野司先生